

醸造成分自動分析装置

【京都電子工業(株)製 SDKシステム (DA-155, SD-700) , AT-710】 令和2年12月導入



- ・従来よりも少量の試料で測定可能です。
- ・温度調整が不要なため、測定時間も短縮できます。
- ・酸度、アミノ酸度測定は自動滴定でのpH測定のため、測定者誤差がありません。

仕様 (SDKシステム)

測定方式	・ DA-155	固有振動周期測定方式
	・ SD-700	水蒸気蒸留法
測定範囲	・ 酒精度	0 ～ 30vol%
	・ 日本酒度	-30 ～ +30
	・ 重ボーメ度	3 ～ 28
	・ 比重	0.7 ～ 1.25
検体必要量	30 ～ 50ml (SD-700)	

仕様 (AT-710)

検出範囲	・ 電位差	-2,000 ～ +2,000mv
	・ pH	-20 ～ +20pH
測定の種類	電位差測定、高度滴定など	
ビュレット容量	20ml	

使用方法

	項目
委託分析試験	酒精計分析(酒精計補正)
設備使用	醸造成分自動分析装置



* 料金は別途料金表をご確認ください。